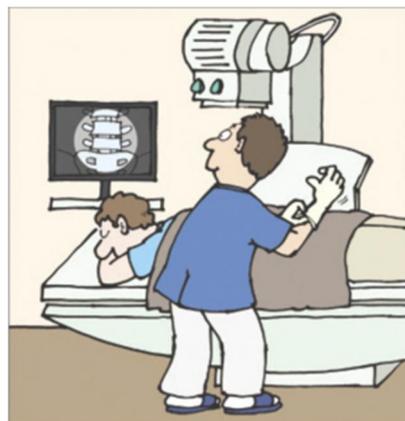


膵臓がんなどのがんの影響で、お腹の上の方が痛い方へ

内臓神経ブロック～疼痛緩和の効果的な選択肢～

1. 内臓神経ブロックとは
 - 膵臓がん、胆嚢/胆管がん、十二指腸がん、腹膜播種などの影響で、上腹部が痛い人の痛みを和らげる手技
 - 神経破壊薬(エタノール)を注射して痛みの神経伝達を遮断
 - 痛みを緩和するもので、がん自体の治療ではありません
 - がんの治療と並行して行えます
2. 目的
 - 痛みを軽減し、強い鎮痛薬の使用を減らすことで、生活しやすくします
3. 適応
 - お腹の上の方から背中(特に真ん中から左側)にかけての痛み
4. タイミング
 - 化学療法開始前や、強い鎮痛薬(医療用麻薬)を開始する頃に行うと、長期に生活の質が保てます。痛みが強くなってからでも考えられます。
5. その他
 - うつ伏せで約1時間の処置です
 - 背中から背骨の前に向かって針を刺します
 - 重篤な合併症は稀です
 - 3日ほど入院が必要です
6. 効果持続期間
 - 1年前後
7. 受診方法
 - 主治医との連携が必要です。まずは、主治医にお申し出ください
8. 様々な理由でブロックできない方もみえます。他に良い鎮痛方法があれば提案します。気軽に受診してください。(主治医の先生にこの説明書を見せていただくとスムーズです)



(主治医の先生へ)

連絡先: 岐阜大学医学部附属病院

① ペインクリニック外来予約 (枠がない時: 田辺 7761、中村 8639)

② 緩和ケアチーム (高橋 8153、松波 8940、伊藤 8164)

電話でのお問い合わせのみでも構いません。受診日時のご相談でも構いません。院外からのお問い合わせは医療機関からに限ります。ペイン外来予約、または田辺、中村に直接お電話ください(病院代表 058-230-6000)